

# 市議会だより さつて



花咲き誇る権現堂公園 

## 3月定例会のおもなことから

- ・ 令和3年度当初予算等 ..... 2～4ページ
- ・ 各常任委員会での審査 ..... 5～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問 ..... 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧 ..... 16ページ

No.98  
2021年  
5月

# 令和3年度 予算賛成全員で成立

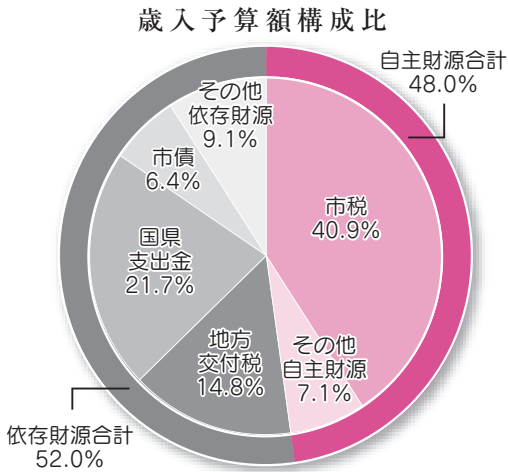
## 一般会計 154億1,000万円

**歳出**

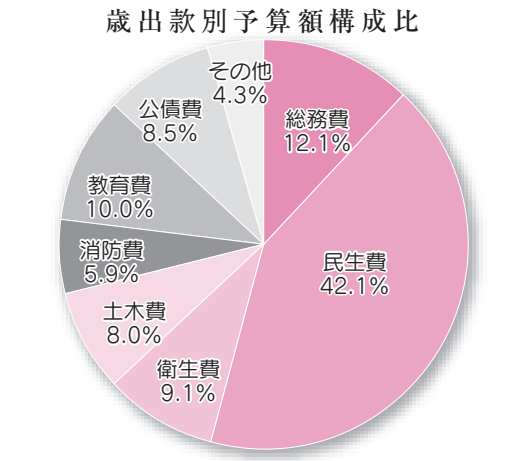
構成比では民生費が42.1%を占め、総務費、教育費が続く。主な事業は、新生児聴覚検査費用の助成、小中学校のICT環境の整備、第2保育所周辺道路の整備、ハザードマップの更新、市内循環バスの運行など。

### 一般会計

#### 歳入構成



#### 歳出構成



### 歳入

**歳入総額は前年比3億9000万円(2.5%)減  
市税は前年度比4.9%減の63億362万円**

### 令和3年 3月定例会

令和3年3月定例会は2月22日から3月19日までの26日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案9件、補正予算案6件、令和3年度一般会計予算案など予算案8件、人事案件1件、議員提出による規則改正案1件が提出されました。いずれも原案のとおり可決・同意しました。

一般質問では、13人の議員が市政をただしました。

また、それ以前の2月9日に開かれた臨時会において、新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する補正予算案1件が可決されました。

### 歳出性質別 (単位：千円)

区分	項目	予算額	小計(割合)
義務的経費	人件費	3,020,062	8,264,911 (53.6%)
	扶助費	3,932,758	
	公債費	1,312,091	
投資的経費	普通建設事業費	207,326	1.4%
その他経費	物件費	2,713,571	6,937,763 (45.0%)
	維持補修費	81,415	
	補助費等	2,293,830	
	繰出金	1,782,868	
	積立金	4,578	
	貸付金	31,501	
	予備費	30,000	
合計		15,410,000	

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

### 特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5,830,790千円
後期高齢者医療特別会計	711,396千円
介護保険特別会計	4,147,370千円
農業集落排水事業特別会計	33,550千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	244,012千円
合計	10,967,118千円

(水道事業および公共下水道事業を除く)

令和3年3月定例議会  
本会議議案質疑内容

(議案第4号)  
幸手市介護保険条例の一部  
を改正する条例について

質疑

1. 市町村特別給付の実施に至った理由について伺います。
2. 第8期介護保険事業計画における基準保険料額の値上げとなった主な要因について伺います。

答弁

1. 令和2年11月9日付、厚生労働省の事務連絡において、令和3年4月からの第8期介護保険事業計画期間においては、従来の支給対象者のうち、市民税が本人課税されている対象者については地域支援事業の対象外と通知されたところです。

紙おむつ支給事業は、家族の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、在宅介護を守り、介護離職防止にも役割を果たしてきたことから、地域支援事業の対象外のものについても継続し

て紙おむつが支給できるよう、介護保険法第62条に規定する市町村特別給付として位置づけ、実施することにしたものです。

2. 第8期介護保険事業計画期間での保険料については、基準月額を第7期の4千509円から2千13円値上げとなる。先ほど議員も言われた4千722円に改定するものです。保険料が値上げとなる主な要因については、高齢化率が今後も上昇していくことが見込まれる中で、令和3年度から令和5年度までの第8期事業計画期間中には、75歳以上の後期高齢者人口の割合が65歳から74歳までの前期高齢者人口の割合を上回ることが予想されております。

後期高齢者数の増加に伴い、要支援・要介護認定者も増加し、介護サービスの需要がさらに高まることにより、今後3年間で必要となる介護サービス量を見込んだことで、介護給付費が増加したことが主な要因となるものです。



(議案第4号)  
幸手市介護保険条例の一部  
を改正する条例を可決

反対討論

大平 泰二

介護保険特別会計の実質的基金は7億5千万円とみることもできます。これだけの基金を貯めこみながら介護保険料の引上げを行うことは認められませんが、第8期介護保険事業計画では、令和7年を目途として高齢者が自立した生活を可能な限り続けられるよう、地域包括ケアシステムを構築することを求めています。不十分です。

(議案第15号)  
令和3年度幸手市一般会計  
予算を可決

賛成討論

坂本 達夫

歳入では、市税が前年度に比べ3億2千246万1千円の減となり、歳入予算のうち自主財源の割合は48・0%となり、前年度51・1%よりも3・1ポイント低下し、市の苦しい財政状

況が伺える。

こんな中で市は、昨年3月に実施した公共交通アンケート調査において、回答者の73・9%の市民が支持した循環バスを令和4年1月から復活させる。これは市民にとって利用しやすい公共交通の実現であり、高く評価する。

また、新年度に新たな組織を作り、現行の公共施設等総合管理計画を改訂し、計画的な公共施設等の更新、統廃合、長寿命化を行う。特に、過去に建設された施設が一齐に更新時期を迎えるが、これらすべてを維持、更新することは財政上できない。計画的な公共施設等の統廃合は、理にかなった対策といえ、期待したい。

賛成討論

大平 泰二

平成30年当時は繰入金・繰越金合計26億8千421万3千円の予算計上がされておりました。その後、駅舎建設、駅西口土地区画整理、古川橋架け替え建設工事に62億円以上も予算を注ぎ込んだ結果、令和3年度の繰越金・繰入金の合計は5億9千397万円に落ち込んだ

でしまいました。厳しい財政を立て直しを求め賛成討論といたします。

賛成討論

武藤 壽男

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に始まり収束が見えない状況であり、地方経済は不透明感の中にあります。

こうした中で、本市では駅舎整備事業等の一部終了した大型事業もあったことにより、基金残高が最低水準に落ち込み、また市税も4・9%減の63億円に減少するなど厳しい予算編成となり、財源不足については臨時財政対策債で賄いました。

従って、投資的経費である普通建設事業費は2億7千万円と過去最低となりましたが、扶助費を始めとする義務的経費は予算総額の54%の83億円を計上致しました。

この様な厳しい時代だからこそ、職員の皆さんには公務員としての責任と自覚をもって、英知を結集され創意と工夫により、市政の進展を期待し賛成討論と致します。

賛成討論

枝久保喜八郎

当市は県内屈指の財政窮状自治体ではあるが、市内循環バスの復活構想予算では、市民に寄り添う姿勢が示され、議会と市民の想いに市政が応える二元政治の理想の姿となった。また、地域問題解消策の一例として、香日向排水機場メンテナンス実施予算は、同場の管理責任に対する市の意向と理解できる。

歳入面では、落ち込んだ財政調整基金から2億5千万円の繰入や、禁じ手と言われる臨時財政対策債を、前年度比38%増の9億4千万円投入する手法に、若干の不安を感じるが、コロナ対策の観点からも財政編成上やむを得ない事情と理解する。今後は、人口減少による減収も現実と思われ、当市を取り巻く行政課題や環境をふまえ、新たな一年に向け、職員一丸となって新たなスタートを切っていたいくことを期待したい。



人事案件

教育委員会教育長

山西 実氏

を任命することに同意しました。

3月定例会 会期日程

- 2月22日（本会議）
  - ・開会・会期の決定
  - ・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 2月24日・25日・26日（本会議）
  - ・市政に対する一般質問
- 3月4日（本会議）
  - ・議案に対する質疑
  - ・議案の委員会付託
- 3月5日（委員会）
  - ・文教厚生常任委員会
- 3月9日（委員会）
  - ・総務常任委員会
- 3月11日（委員会）
  - ・建設経済常任委員会
- 3月19日（本会議）
  - ・委員長報告、質疑、討論
  - 採決
  - ・閉会

3月定例会の議会運営について

幸手市議会においては、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、次の取組みを実施致しました。

- 「一般質問」の議員1人あたりの質問時間をこれまでの「45分以内」から「30分以内」に短縮。
- 本議会、委員会等における理事者の出席を最小限にし、出席者の座席の間隔を保持。
- 本議会、委員会等では、マスクを着用。
- 本議会場、委員会室での2方向からの換気を実施。
- 傍聴席の座席の間隔を保持。
- 議場・委員会室の亚克力板および加湿器を設置。

総務常任委員会

幸手市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例（議案第2号）

**問** 特殊勤務手当の支給対象として、想定される防疫作業は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の患者もしくは、その疑いのある方が避難所に避難されてきた時に、避難所に従事する職員を想定している。また、避難所だけでなく、具体的な症例が発生した場合には、その都度市長が判断し対応する。

令和2年度幸手市一般会計補正予算（第11号）（議案第10号）

**問** ふるさと納税寄附金の増額理由は。

**答** 当初予算では、500万円を計上していたが、令和2年12月末時点の合計で、1千万円を

超える寄附があり、この要因として、令和元年8月からインターネットの受付を開始したこと、令和2年6月からインターネット受付サイトを2つから3つに増やしたこと、コロナ禍の影響により4月から7月にかけて多くの寄附金があったためである。



**問** 特別定額給付金受付業務委託料の減額理由は。

**答** 420万4千円の減額は、当初予算で、受付期間とその後事務処理等を併せて、120日間×3人、延べ360人と見積もったが、全庁的な職員の応援体制を敷いたことで、受付期間の90日間で業務が終了できたことから、今回の減額になった。

令和3年度幸手市一般会計予算（議案第15号）

**問** 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の積算根拠は。

**答** この交付金は、新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度より設けられた、中小企業等が所有する償却資産および事業家屋に関する固定資産税、都市計画税の課税標準特例措置となるもので、事業者の収入減の割合によって、固定資産税が減額・減免される制度である。相談件数により、申請件数を見込んで予算計上した。

**問** 公共施設等総合管理計画改訂業務委託料の内容は。

**答** 公共施設等総合管理計画は、平成29年3月に策定され4年が経過する。国の指針では、策定から一定期間が経過したところや、国のインフラ長寿命化計画の見直しが予定されていることを踏まえ、令和3年度中に総合管理計画の見直しを行うよう

示されている。公共施設の点検や個別施設計画に掲げた内容を反映させるなどの見直しを実施して順次充実することに対応するための予算計上になっている。

**問** 一時借入金利子償還金500万円の積算内容は。

**答** 限度額を概算で10億円、金利については、短期プライムレートが1.725%から1.475%の間を動いていることから1.5%前後とみて積算した。

**問** 債務負担行為の循環バス運行事業、2億1千452万1千円の積算根拠は。

**答** 令和4年度から令和8年度の5年間で設定している。運行の開始準備業務が57万9千円、運行管理業務が1億8千600万円、一般管理費が1千860万円、消費税を合わせて総額2億2千500万円になる。ここから令和3年分の当初予算に計上した分を除いて、2億1千452万1千円を予算計上した。



## 文教厚生常任委員会

**改正する条例（議案第3号）**  
**幸手市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を**

**問** 幸手市で、すぐに電子資格確認ができるのか。

**答** 医療機関でのICチップ等のカードリーダーの配置状況について把握していないので、現時点ではお答えできない状況だが、この読み取り装置の配置も徐々に進んでいるという厚生労働省の発表はある。

**令和2年度幸手市一般会計補正予算（第11号）**  
**（議案第10号）**

**問** 生活困窮者自立支援給付費の住居確保給付費の内容と減額理由について。

**答** 離職を理由に住居を失った、または失うおそれのある者に対し、就労を自立できる程度の収入を得るまでの期間、家賃相当額を3か月支給するもので、申請給付である。

当初予算では2世帯分で予算を組んだが、その後、コロナ禍などの社会情勢を考え、30世帯分を増額する補正予算を組み、対応することとした。しかし、最終的に、5世帯の利用というところまでまわっているのが、年度末までの利用世帯数を9世帯ほどと見込んで、減額したものである。

**令和3年度幸手市一般会計予算（議案第15号）**

**問** 運転免許証自主返納者支援事業業務委託料、150万円の内容と返納の証明について。

**答** 本業務は、免許証を自主返納された高齢者の方に対して、タクシール乗車料の初乗り運賃を補助するもので、この取り扱いを市内の業者に委託するものである。また、返納の証明については、警察に手続きをすると、警察から返納したという証明書が出る。

**問** 地域生活支援拠点事業負担金の内容について。

**答** 障がい者の重症化・高齢化や親亡き後を見据えた居住支援のための機能を備えた事業所である。蓮田市、白岡市、杉戸町、宮代町、幸手市の3市2町により、埼玉北部地区障害者自立支援協議会をつくっており、この事業所を令和3年度に新たに設置するにあたり、その運営を社会福祉法人に委託するための、各市町の負担金となるものである。

**問** 保健体育総務費の警備業務委託料の内容について。

**答** パラリンピックのコースは、まだ発表にはなっていないが、聖火リレーの走行に伴う警備、迂回等に関する警備、沿道の皆さんが出ていかないうコースに配置し、警備をするもので、70名の警備員とそれに伴う一式の備品等を用意するため、318万5千円を計上したものである。

**令和3年度幸手市国民健康保険特別会計予算（議案第16号）**

**問** 保険給付費が増えている一方で、国民健康保険税が減っている理由について。

**答** 保険給付費については、埼玉県から提示された金額を基に予算計上している。一方、国民健康保険税については、今般の新型コロナウィルス感染症の影響による減を見込んでいた。従来より、2%から4%の減を見込んだ結果、今回の予算額となったものである。

**令和3年度幸手市介護保険特別会計予算（議案第18号）**

**問** 在宅医療・介護連携推進事業委託料に係る介護と医療の連携について。

**答** 本事業は、幸手市と杉戸町で共同でお願いしている。東埼玉総合病院の中に、事務局「菜のはな」を置き、幸手市がモデルケースになり、全国に発信したところである。

特徴としては、どちらかというところ、現場へ出ていき、いろいろな話を聞いてくる。また、逆に相談を受けるという形で、これまでにならぬ形で医療と現場とボランティアを融合させながら進めている。ある程度メニューが整っており、こちらを拠点に、これからの地域共生社会の一つとして、頑張っていけるのではないかと考えている。

建設経済常任委員会

令和2年度幸手市一般会計補正  
予算(第11号) (議案第10号)

**問** 古川橋架替工事が減額となつた理由は。

**答** 工事内容が確定したことに  
よるものである。本工事は、当初  
設計から、河床から下の部分で杭  
を切断する工法で工事を発注。杭  
を切断するためには川の中を締  
め切る仮締切の矢板を打ち込む  
工事もあり、トータル的には経済  
的な工法であるが、経費としては  
392万円を減額するものである。

令和2年度幸手市幸手駅西口  
土地区画整理事業特別会計補  
正予算(第2号) (議案第14号)

**問** 繰越明許費の繰越理由は。

**答** 調整池本体整備事業は、北側  
の擁壁ブロックを工事する際、掘削  
をしたところ大量の地下水の流入が  
あり、長さ10メートルの遮水矢板を

業費補助金の事業内容および委託  
先、市の企画立案への関わりは。

22・8メートル追加で打つこととなつ  
た。その遮水矢板の調達に1か月の  
期間を要したため繰り越しするも  
の。西口停車場線道路築造等事業  
は、国の3次補正が補助金が付きや  
すいことから令和3年度に予定して  
いた工事を前倒しし、未契約繰越す  
る。物件移転補償事業は、家屋一棟  
の移転完了が今年度見込めなくなつ  
たため、契約完了後に支払う3割の  
残金分を繰越すものである。

令和3年度幸手市一般会計予算  
(議案第15号)

**問** 市民まつり業務委託料360万円の  
委託先および来年度の来客見込み数は。

**答** 幸手市商工会が事務局とな  
り、実行委員会形式で幸手市民ま  
つりの会に委託している。来年度  
は5万人程度の来客数を見込んで  
いる。開催については、コロナウイ  
ルス感染症対応も十分考慮しなが  
ら市民まつりの会と協議していく。

**問** 中心市街地にぎわい創造事

からのお願いとして看板等の設置  
が可能かどうか、今後検討する。

令和3年度幸手市農業集落排水  
事業特別会計予算(議案第19号)

**問** 汚泥処理の経費が高いのでは。  
また、借入金の償還期間は。

**答** 委託規模はここ数年、同程度  
で推移している。汚泥の含水率につ  
いては過去に発生汚泥量を少なくす  
る試みを行ったことがあるが、バクテ  
リアが吸える固さとして今の状況  
はほぼ適正な運転と考える。また、  
借入金償還の最終年度は令和18年  
度を予定している。

令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画  
整理事業特別会計予算(議案第20号)

**問** 新年度の工事予定は。

**答** 駅前の南側にある歩行者専用道  
路の整備、市道616号線西側道路の  
整備、412号線の道路拡幅・U字  
溝整備の3路線を予定している。換地  
や補償など、工事の進捗が見えにくい  
部分もあるが、地元的地権者には、区  
画整理ニュースでお知らせしている。

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、13人の議員が2月24日、25日、26日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 四本奈緒美議員

- ヤングケアラー支援について
- ご遺族支援（おくやみ）コーナーの設置について

### 坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス感染症について
- 洪水対策について
- 荒宿交差点、市役所入口交差点について

### 小林啓子議員

- 市内小中学校等における新型コロナウイルス感染予防のための清掃・消毒について
- 幸手市のドローン事業について

### 本田謡子議員

- 市ホームページの記載のしくみなどとその責任について
- コロナ禍の防災（避難）について
- コロナ禍の自宅療養者等の支援について
- パルスオキシメーターについて

### 松田雅代議員

- コロナ禍において市民サービスを低下させない政策について
- ふるさと納税寄附金の効果的な活用について
- 市の審議会、協議会等「附属機関等」の会議録の閲覧状況について

### 海老沼隆夫議員

- 元職員の公平委員会への「不当訴え」問題について
- 老朽化する市庁舎について
- 危険な道路、歩道について

### 小林英雄議員

- 幸手市独自コロナウイルス対策事業について

### 青木章議員

- コロナ禍における人口対策について
- 子育て支援事業等について
- 幸手市魅力向上について

### 小河原浩和議員

- 市長の選挙公約実現に向けた進捗状況とその課題について
- 県道幸手・境線バイパスの進捗状況と現上船戸橋及びその周辺道路の今後。他の市・町と接する市道橋の考え方について

### 大平泰二議員

- 介護保険制度について
- 新型コロナウイルス対策について
- 令和3年度予算について

### 木村治夫議員

- 自主防災組織の育成・支援事業について
- 地域農業の推進について
- 道路網の整備について

### 武藤壽男議員

- 幸手市の地方自治法202条の3に基づく附属機関等について
- 市長の市政に取り組む考え方、方針について

### 枝久保喜八郎議員

- 土地利用について
- 老朽施設の管理支援対策について
- ワクチン接種事業について

### 3月定例会

傍聴者		
26の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。		
1月 49件	2月 1736件	3月 757件
の方が視聴されました。		

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

### あなたの声



一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、市長や教育委員会等の方針を問うものです。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。





坂本達夫議員

## 駅自由通路を避難場所に

**Q**

来年度作成予定のハザードマップには、駅自由通路を避難場所として指定するのか伺う。

令和元年10月13日、台風19号は関東地方を直撃し、栗橋付近の利根川では氾濫警戒水位を超え、深夜にもかかわらず幸手市は、避難勧告を発した。こんな時、避難場所が近いのは有効で

**A**

駅自由通路は、市民が通行する市道であり、特に災害発生時には、鉄道を挟み市の東西を繋ぐ重要な役割を担っていることから、現在、市では避難場所に指定をしていない。

(市民生活部長)



四本奈緒美議員

## 「ご遺族支援(おくやみ)コーナー」の設置を!

**Q**

家族が亡くなった際の手続きは、ご遺族は悲しみの中で行わなければならない。死亡に伴う手続き申請書は何種類あるか、提出窓口はいくつに分かれているのかを伺う。

ご遺族が死亡の手続きを行う際の負担を軽減でき、窓口業務の時短にもつながるワンストップのサービス「ご遺族支援(おくや

**A**

ご遺族支援(おくやみ)コーナーにはいくつかのメリットが見込まれ、市民サービスの向上につながるものと思われる。

現在、死亡届の際に市民課において、「ご遺族の方へ」という資料をお渡しし、9つの課での手続きについてお知らせしている。これらの手続きを集約す

ある。しかも駅自由通路は高く、頑丈な建物である。

巨額な税を投入して建設した駅自由通路、災害時に有効活用しないのは理解に苦しむ。前向きな答弁をお願いする。

過去の災害では、踏切の遮断

による通行の課題もあったことから、自由通路が通行や物資運搬に利用されることが予想されるが、自由通路を避難場所にした場合、避難者と通行者が混在し、双方に支障が生じる恐れがあることから、今後も指定をすることは困難であると考える。

(市民生活部長)



## 市内小中学校等の感染予防の清掃・消毒は



小林啓子議員

**Q**

文部科学省のガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染症予防のために、市内小中学校ではどのような清掃・消毒が行なわれているのかを伺う。

**A**

市内小中学校では、文部科学省で作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、教室の机や椅子、ドアノブ、手すり、スイッチ類などを、消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウム消毒液、

界面活性剤などで清掃・消毒を行っている。

次亜塩素酸水生成器については、安全性、利便性、低コストではあるが、導入経費や、手指消毒に向かないなどデメリットもあることから、学校への導入については研究していきたい。

(教育部長)

## コロナ禍の自宅療養者と疑陽性者の避難は



本田謡子議員

**Q**

いつ起こるかもしれない大地震ですが、今、コロナ禍で、自宅療養をしている方やそのご家族で疑陽性になっている方に対する市の役割と対策を伺う。

**A**

自宅療養者の住所等の情報が県から市へ提供されていないため、現状では、療養者専用の避難場所を決め、保健所等と協議のうえ、療養者の受入体制を整えておくことが必要であると考えます。

対策として、市の指定避難場所とは別に、自宅療養者を受け入れられるよう準備を進めており、同時に、自宅ではなく、医療機関等で回復できるまで過ごせるよう、引き続き、感染防止

対策の必要性を、市民に訴えていく。  
(市民生活部長)



## コロナ禍に市民サービスを低下させない政策を



松田雅代議員

**Q** コロナ禍で、政策目的のあった事業や行事が中止や縮小となる中、市民サービスの「質と量」の観点から、元々の政策目的を果たすための新たな施策や政策をやっていかないと単純に市民サービスが低下することになるのではないかと懸念する。Withコロナを前提とした市民サービス

的のあった事業や行事が中止や縮小となる中、市民サービスの「質と量」の観点から、元々の政策目的を果たすための新たな施策や政策をやっていかないと単純に市民サービスが低下することになるのではないかと懸念する。Withコロナを前提とした市民サービス

の「質と量」の低下を可能な限り抑えるための施策をどのように考え、やっているのか、また、やっていくのか伺う。

テクノロジや既存の仕組みを駆使して進めていただきたい。

**A** 新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下で、多くの人が集まる事業については、やむを得ず実施を見送っている。

一方で、市民生活や地域経済

への支援など、コロナ禍に対応する新たな事業を展開してきた。今後においても、市民の安全安心を第一とし、住民福祉の増進につながる事業について、既存の情報ツールの有効活用や新たな情報技術等に係る情報収集にも努めながら、進めるべき施策・事業の「選択と集中」を図っていく。  
(総合政策部長)

## 危険な道路、歩道について



海老沼隆夫議員

**Q** 県道並塚幸手線のヨークマート前の田畑

側の歩道、狭いところに雑草が生い茂り、通行に不便が有り、小学生は遠回りをして通学、高齢者は信号の無い横断歩道を利用し、極めて危険です。再三の指摘に対して、この2月に枯れ草の撤去が一部行われましたが、歩行者の安全の為に、雑

草の生い茂る夏場での定期的な刈り取りを県にも是非、強く求めていただきたいですが、市のお考えをお伺い致します。

**A** この場所は歩道が狭く、雑草が生えたと通行に支障がある事は認識しています。

県道並塚幸手線は埼玉県が管理する県道のため、杉戸県土整備事務所引き続き草刈の要望をしてまいります。  
(建設経済部長)



## 幸手市独自のコロナウイルス対策事業とは



小林英雄議員

**Q**

国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に於いて、幸手市独自の事業である市民、事業者向けのハッピーメール券（1人2千円）・Pay Pay（還元30%）・小規模事業者等応援金（一律5万円）は概ね好評であったが、通知のハガキの内容が分かりづらい、ハッピー

**A**

メール券が使用された店舗に偏りがある等の指摘もあった。今後は踏まえ、商工会にだけ負担をかけずに、周知を徹底する為、各業種の組合への協力要請等検討すべきと考える。市としての考えを伺う。

（建設経済部長）

## コロナ禍において新生児に10万円の給付金を



青木 章議員

**Q**

木村市長は、ホームページにおいて「子育て応援日本一をめざします」としています。

役所の年度は4月1日から翌年3月31日までです。幸手市新児特別定額給付金事業の中で令和2年4月28日から同12月31日までの間出生した子どもにも10万円の給付をしています。他

**A**

市町も対応しており私は令和3年3月31日までに生まれた子どもを対象とすべきと考えます。3月末までにすると「役所の事務が大変だ」は市民不在で許されません。新たに3月末までに出生が想定される約46人の新生児に10万円の給付を!!

幸手市新児特別定額給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、新生児を養育する世帯の経済的

負担を軽減することを目的とし、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施しました。臨時交付金の制度上、年度中に支払いまで完了する必要があり、本市においては、本給付金の対象を年の区切りとして令和2年12月31日までに出生した新生児としたものであるので、ご理解ください。

（市長・健康福祉部長）

選挙公約実現に向けた具体的な施策や事業は



小河原浩和議員

Q

数多くの選挙公約を表明され2度目の予算編成をされた木村市政において、その選挙公約実現のために、独自の施策や事業は有るのか、具体的にお示しく下さい。

A

市では、限りある貴重な財源を効率的かつ効果的に配分し、様々な施策や事業を進める。

主に、教育・子育てにおいては、中学生統一学力調査を5科目で実施し、またGIGAスクール推進のためのICT環境整備を行う。公共施設再編・整備においては、移動手段の確保としての市内循環バスの運行を開始する。更に、災害・くらしに強い街づくりでは、地域の実情や

特性に応じた地域防災計画やハザードマップの更新、国土強靱化地域計画の策定を行う。

(市長)



介護保険制度について



大平泰二議員

Q

今後3年間の介護の在り方を示す第8期介護保険事業計画がいまだに議会に示されていないのは何故か、また策定にあたり、市議会決議(平成28年12月)をどのように反映させたか伺います。

A

計画書については、配布が遅れご不便をおかけしましたが、3月当初にお手元に配布させていただきました。決議の反映については医療・介護の連携の充実を図り、切れ目ない一体的な提供に努めることとした。また、地域包括支援センター職員の資質向上を図り、相談体制の強化と公正・中立的な運営に努めることとした。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域密着型サービ

スの需要を計画の見込み量に反映させた。

(健康福祉部長)



## 自主防災組織の育成・支援事業を問う



木村治夫議員

**Q**

市内自主防災組織48団体、整備率63・1%であるが、地震また自然災害発生時に於いて、地区被害状況、市民の安否確認等、災害時の市民生活が維持され安心・安全が確保されることが重要である。市として、地域防災力の強化、市民への情報提供、応急物質の確保と応援体制の確立が喫緊の課

**A**

災害時には、自助・共助・公助のそれぞれに役割があるが、自主防災組織の充実には、その中の共助の強化に繋がるものであり、地域の防災力の向上にとって、大変大切なも

題であると考えます。

自主防災組織化整備率100%を目標として市民への防災知識の向上と災害から生命や財産を守るための市見解を市長に伺う。

のと理解している。

市としても、今後の市民の安心・安全の確保のためにも、自主防災組織の育成を引き続き進めていきたいと考えている。

自主防災組織への補助制度の見直しについては、団体の要望等を精査しながら、検討していく。

(市長)

## 附属機関の農業振興協議会の開催経緯は



武藤壽男議員

**Q**

市の農業振興協議会は、昨年8月16日に改選された。議題についてはその議題が同月24日には農業委員会で先議された議題があったが、初会議が12月に1月に開くとの連絡が委員に通知された。その後コロナの拡大に伴い、会長等の人事案件を含め書面表決で行う通知がなされた。

**A**

同協議会の設置条例によれば第5条に於いて会長は互選によつて定めると規定され、会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことが出来ないとされているが、事務局ができる根拠を伺う。

農業振興協議会の書面会議の開催については、コロナ禍において、令和3年1月に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、埼玉県からの感染

拡大防止対策の協力要請や市として取り組む感染防止対策を踏まえ、感染拡大防止や感染症から身を守ることを優先した結果、開催方法を書面開催に変更した。

ご指摘のとおり条例には書面会議の記載がないことから、分かりやすい形に変更することが必要であったのではないかと考える。

(建設経済部長)

会議案第 1 号

幸手市議会会議規則の一部を改正する規則を可決

幸手市議会会議規則の一部を改正する規則の改正案が提出され、「賛成全員」で可決し、3月19日に公布、施行しました。

幸手市議会規則第 1 号

幸手市議会会議規則の一部を改正する規則

議員が活動しやすい環境整備を行うため、女性議員の産休期間の明記や、会議欠席事由などを明文化すること、国がデジタル化政策の一環で見直しを進めている「手続きの簡素化」を図るため、「押印」の規定を見直すものです。

《主な規則改正内容（抜粋）》

- (1)本会議の欠席事由… 「事故のため」とあるものを「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため」と改める。
- (2)議長への欠席届け… 「日数を定めて」とあるものを「出産予定日の6週間前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして」と改める。
- (3)請願の記載事項… 「請願者の住所及び氏名(法人の場合には、その名称及び代表者の氏名)を記載し、押印しなければならない」とあるのを「及び請願者の住所を記載し、請願者が署名又は記名押印をしなければならない」と改める。

6月定例会 会期日程（案）

- 6月1日（本会議）
  - ・開会・会期の決定・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・3日・4日（本会議）
  - ・市政に対する一般質問
- 6月10日（本会議）
  - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 6月11日（委員会）
  - ・総務常任委員会
- 6月14日（委員会）
  - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日（委員会）
  - ・建設経済常任委員会
- 6月22日（本会議）
  - ・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会



枝久保喜八郎議員

農地転用での法令順守の重要性について

**Q** 前議会で太陽光発電の無届設置による先行

きリスクを指摘したが、農地の転用について、地目変更や建築許可など必要な申請処理が為されないまま違法利用される例が発生している。

こうしたことが常態化すると農業委員会の存在意義を形骸化し、委員の審議意欲にも弊害を

生ずることになりかねない。土地利用について、行政による法令との確認が追い付かない場合を想定し、現状放置することなく何らかの対策を講じるべきと思うが。

**A** 農地を農地以外の目的に利用する場合には、制限が課せられている。

農地転用の制限については農地法第4条に、権利移動を伴う農地転用については農地法第5

条にそれぞれ規定されている。市街化調整区域の農地転用については、基本的に埼玉県知事の許可となっている。

違反転用に対しては、まず、事情聴取を行い、その後、春日部農林振興センターと連携して是正勧告書の交付等を行い、是正指導を行っていく。

（建設経済部長）

## 令和3年2月臨時会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新国会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		四本奈緒美	坂本達夫	海老沼隆夫	小林英雄	枝久保喜八郎	宮杉勝男	本田謡子	小河原浩和	小林啓子	松田雅代	木村治夫	藤沼貞	青木章	武藤壽男	大平泰二	付託委員会	

(幸手市長提出議案)

議案第1号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	退	○	○	—	賛成全員可決
-------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

## 令和3年3月定例会 提出された議案の結果

(幸手市長提出議案)

議案第2号	幸手市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第3号	幸手市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第4号	幸手市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第5号	幸手市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第6号	幸手市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第7号	幸手市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第8号	幸手市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第9号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第10号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第11号	令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第12号	令和2年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第13号	令和2年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第14号	令和2年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	建設経済	賛成多数可決
議案第15号	令和3年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第16号	令和3年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第17号	令和3年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第18号	令和3年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第19号	令和3年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第20号	令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	建設経済	賛成多数可決
議案第21号	令和3年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第22号	令和3年度幸手市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第23号	幸手市いじめの防止等のための組織に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第24号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第25号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

会議案第1号	幸手市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	賛成全員可決
--------	---------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

### 議会広報編集委員

- 委員長 宮杉勝男
- 副委員長 小林啓子
- 委員 四本奈緒美
- 委員 枝久保喜八郎
- 委員 本田謡子
- 委員 小河原浩和
- 委員 松田雅代
- 委員 木村治夫
- 委員 大平泰二

### 編集後記

コロナ禍に2度目の春がやってきました。卒業式や入学式も最小限の参加者で、リモート方式と、対応せざるを得ない事態でした。一方企業では、テレワークの導入が大幅に進みました。しかし、仕事上のコミュニケーションが不足となり、ストレスがたまるという現象も起きています。これから新型コロナワクチンの接種が始まります。そのような中で、毎年変わることなく春を告げる幸手の桜、来春こそは、桜満開の優雅さと散り時の潔さなどを、たくさんの皆さんと共有したいものです。